

小中学校の耐震診断の結果表(H20年度診断)

学校名	棟用途	棟番号	建築年度	構造 ※1	階数	面積 (㎡)	耐震2次診断結果			備考
							診断年度	IS値 ※2	判定 ※3	
東小学校	校舎	②-1	S37	RC	3	1,727	H20	0.27	C	
		②-2	S38							
	校舎	②-3	S39	RC	3 1	1,129	H20	0.40	B	
		②-6	S50							
北光小学校	校舎	④-1	S45	RC	2	1,235	H20	0.83	A	
		④-2								
	廊下	④-3	S45	RC	1	75	H20	0.76	A	
美園小学校	屋体	④-1	S43	S	1	1,134	H20	0.47	B	
		④-2	S49							
		④-4	S58							
糸井小学校	屋体	②-1	S50	S	1	902	H20	0.61	B	
		②-2	S56							
	廊下	②-1	S50	S	1	79	H20	2.44	A	
東中学校	校舎	③-1	S36	RC	3	2,656	H20	0.38	B	
		③-2	S39							
		③-3	S37							
		③-4	S38							
沼ノ端中学校	校舎	①-1	S40	RC	3	1,377	H20	0.29	C	
凌雲中学校	校舎	①-2	S40	RC	2	1,520	H20	0.58	B	
		①-3	S45							
		①-4	S50							
		①-5	S50							
		①-6	S52							

※1 RC:鉄筋コンクリート造 S:鉄骨造

※2 IS値とは、地震力に対する建物の強度や粘り強さなどの耐震性能を表す指標で、大きい数字ほど耐震性能が高くなります。

◎IS値の判断基準(震度6強から震度7程度の大地震に対して)

0.6以上(文科省では0.7以上)	倒壊又は崩壊する危険性が低い	判定 A
0.3以上~0.6未満(文科省では0.7未満)	倒壊又は崩壊する危険性がある	判定 B
0.3未満	倒壊又は崩壊する危険性が高い	判定 C

文部科学省では、学校としての特殊性と地域の避難場所としての機能を加味して、安全の目安を0.7以上としています。

※3 上記 ※2より、IS値の判断基準のそれぞれの分類毎に「判定」をA, B, Cと定める。